

■きょうの話題・あすの話題……2～3

200号は市の歴史そのもの・16年の市政の縮図

■広報なんこく200号記念特集・アンケート調査から……4～13

アンケートのあらし／100戸のうち60戸が広報保存／市民対話のテキスト・東村達夫（立田）／8月1日生まれの人たち  
岩原芳治さんら34人／広報紙コンクールで2度目の全国入賞／創刊号をもっている人たち・沢谷清一・坂東香・沢本起太子・野口小吉

■あなたがつくるページ……14～15

市政モニター通信・一斉清掃で思うこと／国際婦人年／南国歌壇／南国佛壇／詩・小倉久・浜田みほ／笑点・古谷栄幸／広報委員の目

■ヤングのページ……16～17

バスケットボール・高島勉／カット・松崎恵子／こんにはは・岡林子代／学校めぐり・北陵中学校／あなたの便り・中沢山美子・大野富貴子／赤ちゃん誕生・間城綾・服部佐織・野村匡・広沢満希子・森恵子／親子クイズ

■お知らせのページ……18～19

■市民カレンダー……20

夏休み小供教室の日程

あなたと市政をむすぶ

# 広報 なんこく

8/1 1975 No.200

編集・発行／南国市広報委員会

# 200号は市の歴史そのもの 16年の市政の縮図

広報なんこくは、この八月一日号で二百号をむかえた。昭和三十四年十月、南園市が生ぶ声をあげてから十六年の歳月が流れようとしている。

広報二百号は、この歴史そのものの鏡であり、市政の縮図である。広報・広聴が地方自治体の大きな事業にまで発展してきた今日の頃、この歴史をひもときながら明日への飛躍に結びつけていきたいものだ。

## 創刊は三十四年十月

### 市民の声の花盛り

花子・二百号記念おめでとう。  
ボチ・二百号といえは大変なものだ。  
太郎・二百号は「南園市の歴史そのもの」といったところだね。  
花子・昭和三十四年十月に南園市が誕生して十六年になろうとしているわね。  
太郎・誕生した十月二十日付で創刊号が発行されたんだ。  
ボチ・すぐやらない市役所にしては随分早いこと……。  
太郎・いつものことながら意地が悪いな。

南園市は香長村・後免町といっただ段階をへて合併したんだよね。実際は香美郡と長岡郡の十五カ町村が一語になった。  
花子・旧町村の時代から広報活動は大変盛んだったようね。  
太郎・戦後間もなく広報委員会というのがつけられてね。いまだ「市民参加」の広報紙づくりがすすめられていた。  
花子・旧町村というのは人口規模も小さく家族的だったんでしょね。  
太郎・むかしはガリ版刷りだった。

た。それが活版印刷になり、写真植字によるオフセット印刷にかわってきた。カラー写真を入れたり紙の質も良くなったものだね。

三十六年から

### 市民の編集に

花子・市になってからも広報委員会があったの。  
太郎・創刊号のころは市役所が編集・発行してたんだ。それも旧町村で広報を担当したところのある職員と高知新聞後免支局長をしてきた三谷さんなど有志が集って第一号を発行した。  
花子・今のようにならぬ市民が直接広報紙の編集・発行にたずさわることになったのは……。  
太郎・そうだね。三十五年二月に「広報委員会規則」というのがつくられた。そして、実際に市民が編集に参加するようになって最初のものは第十九号（三十六年五月号）ということになっているね。  
ボチ・そのころの広報紙をみると「市民の声」というのが随分多い。

### 広報紙は

#### 夜つくられる

ボチ・なにしろ二百号というから、いろいろなことがあったんだろうな。  
太郎・三十五年十月号では「広報広告」の募集をしている。赤字の持ち寄りであっていたので苦肉の策か……。市内各戸に必ず配達されますから効果はかなり大きいと考えられます。とPRのほうも胸にいっている。四ツ×七ツ

## きょうの話題 あすの話題

角ぐらいの大きさを二三百円の広告料だったそうだよ。  
花子・現在では珍しいことではないよ。  
太郎・そうだね。でも、最近になつて須崎市が広告をとるようになったそうだよ。  
ボチ・担当者や広報委員の苦労も並大抵のものじゃなかったじゃないかな。  
太郎・三十五年から十年間、事務局で取材を担当していた現農林園芸課長補佐の東村さんによると

「総務課から市民課に異動になったとき、広報事務の「やり手」がなくて、昼間は市民課の仕事、夜は広報の仕事。徹夜になることもたびたびありました。」とのこと。  
ボチ・広報は夜つくられる。  
太郎・苦勞ばかり多くて……と

## 四十八年から月一回発行

### 市政のわかりやすい公開

花子・現在の広報委員さんでもその当時から苦勞された人もいますよ。  
太郎・委員長をしている山本先生は日本広報協会の高知県支部長でもある。後免町で産婦人科を開業しているけど「医者もやってます」という状態で、本業より広報の方に専念するのが多い。などと冗談も飛び出す出来。それに、ロケットさんこと藤本茂樹さん。このコンビは、もう十五年になろうとしているね。

### 市民参加の

#### 市政への布石

ボチ・広報紙は四十八年四月から、県下で始めての月一回発行になったんだね。

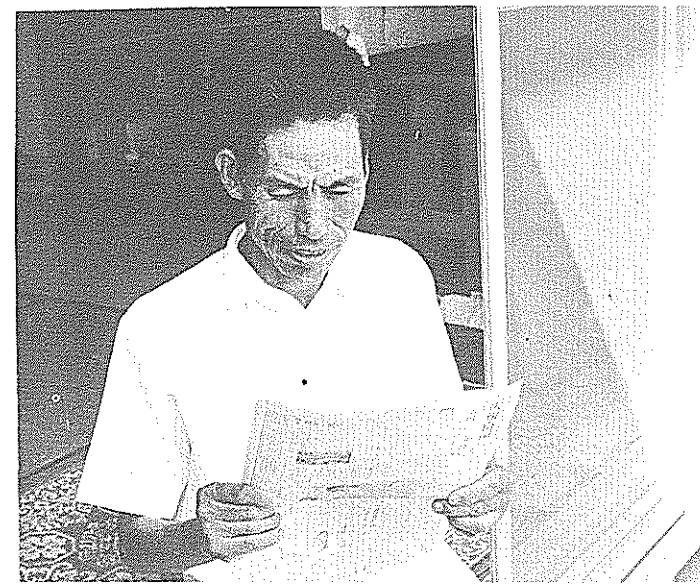
こぼしていたけど、やはり「市民との交流もあった。地域の座談会」のあとの一杯はうれしかった。帰りには昔からの友達のようになつて……。それに市政のこともよくわかった。」

太郎・担当者は仕事が二倍になるといってシブシブ……。だが広報委員さんの「燃えるような情熱(?)」が、月一回発行を実現させたそうさ。現在では、すっかり定着してきて、一日と十五日には定期的に市民の家庭に配られている。

### 十六年の歴史を

#### 今後の糧に

花子・そういう意味からも広報は大変な役割りをなっているわけね。  
太郎・広報紙を、市民みんなでつくるあしたの南園市づくりの広場に、民主主義を实践していく場にしてほしいものだね。  
広報紙の二百号は、市民とともに歩んできた十六年の歴史だし、謙虚に振り返りながら、今後の糧にしてほしいものだね。



# ●広報なんこく200号記念特集



広報なんこくアンケート調査から...

## アンケートのあらまし

### ■調査のねらい

「聴く市政・話す市政」をすすめるため「市長への手紙」「市民と市長の対話集会」「市民相談室の設置」など広報活動をすすめています。市民対話・市民参加の市政をすすめていくためには、何よりも市民自身が考え、意見を述べるための資料や情報を公開することが大切になる。

そこで「広報なんこく」が、いかに読まれているか、また、何を望んでいるかを知ることによってよりよい広報行政をすすめるようとするもの。

### ■調査の方法

市立の小学校六年生の父兄を対象（ただし、六年生の少ない学校については、その他の学年生も含める）に、児童にアンケート用紙を渡し回収した。  
対象数は六年生五百三十五人、その他二十二人のあわせて五百五十七人。  
小学六年生を選んだのは、核家

族化がすすんだとはいいながら、六年生の兄弟、姉妹と父母・祖父母の三代揃った一般的な家庭であらうとして対象にしたもの。

### ■結果のあらまし

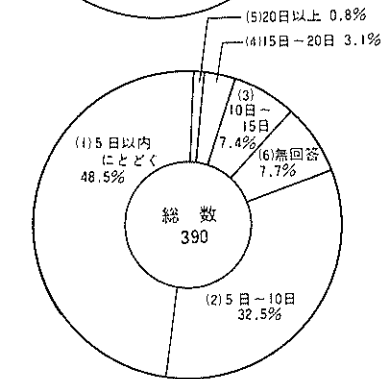
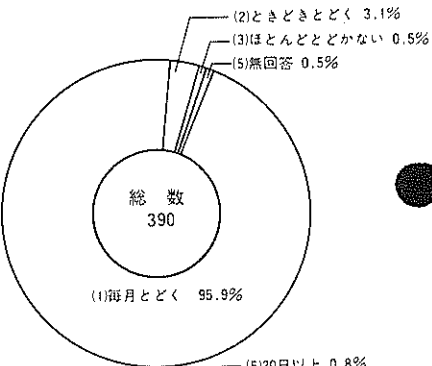
回収された調査票は三百九十枚で、回収率七〇・〇％。回収率のよかったのは白木谷小、黒滝小の一〇〇％、岡野小の九〇・一％、久礼田小八三・六％の順。男百十八件（三〇・三％）、女二百四十四件（五七・五％）不明二十八件（七・二％）、職業別では農林水産業八十七件（二二・三％）、商業十六件（四・一％）、製造業六件（一・五％）、勤労者百八件（二七・七％）、主婦百九件（二七・九％）その他不明六十四件（一六・五％）  
なお、校区別になっているので日章小（日章岩村地区）大湊小（浜地区）後免野田小（後免・野田・長岡の一部の地区）久礼田小（久礼田・巖岩・国府地区）国府小（国府地区の五年生の父兄が対象）上倉（奈路小・白木谷小・黒滝小の児童の父兄が対象）

広報は参考になる65%

すみずみまでくわしく読む38%

「広報なんこく」は、昭和三十四年十月南  
国市の発足とともに生ぶ声をあげ、この八月  
一日号でちょうど二百号になる。  
そこで、二百号を機会に広く市民のきたん  
のない意見や提言を聞いて、新しい広報紙へ  
脱皮しようとアンケート調査をした。  
広報なんこくは市政や市の行事を知るうえ  
で参考になる六五・九％、すみずみまでくわ

しく読む三八・二％、毎号として保存してい  
る二・八％などの結果が出ており、一番読  
まれているのは市民の声、これからとりあげ  
てほしいものは市内の話題、催しや行事など  
というものだ。  
広報委員会では、なお細かい分析をして、  
できれば九月一日号ごろから市民の声を生か  
した新しい広報紙へ脱皮したいと考えている。



うち五日以内にとどくが二十四件  
十日以内九戸で群を抜いて早くと  
どいているようだ。以下、三和、  
長岡、稲生の校区の順になっ  
ている。

### 五日以内にとどく 全体の半分

D・ただ、数字的には少ないが  
ときどきとどく、ほとんどとどか  
ないが三・六％（十四件）あるん  
だ。地区別でみると大塚、長岡、  
上倉でそれぞれ三件あって、今後  
はこの原因などについて検討する  
必要があるな。

A・発行日から十日以上かかっ  
ているものをみてみると一一・三  
％となっている。  
E・地区連絡員は、それぞれ任  
事をもって、早朝や夜間に配  
ってくれているので無理もいえない

いね。C・「発行したら、すぐ家庭に、  
とどくようにしてもらいたい。」  
（33歳・主婦）  
B・このアンケートからみるか  
ぎりは、まずまずといったこと  
ろじゃないかな。連絡員からの苦  
情なども耳にするね。  
D・うん、このアンケートのな  
かでも「連絡員を無理にさせられ  
毎月二回を一年間配った。少しお  
くれると市民カレンダーが間に合  
わぬとひどくおこられた。忙しい  
中を無料奉仕で婦人部のため協力  
しても、おこられて合わぬと腹が  
立った。手数料は全て婦人部へ入  
り、実際に働いた人には一銭も  
入らないことを知っているか。こ  
れは地区によってやり方がちがう  
かもしれないが、遅配といってお  
こられては別に合わない。（39歳  
商業）」というのがあった。

### 毎月とどく 95・9%

問1 あなたの二家庭に「広報なんこく」は――  
(1)毎月とどく 95・9  
(2)ときどきとどく 3・1  
(3)ほとんどとどかない 0・5  
(4)発行していることを知らない 0・0

(5)無回答 0・5  
問2 広報なんこくは、毎月一日と十五日の二回発行していますがあなたの二家庭にどのくらいは――  
(1)発行日から五日以内 48・5  
(2)五日～十日以内 32・5  
(3)十日～十五日以内 7・4  
(4)十五日～二十日以内 3・1  
(5)二十日以上 0・8  
(6)無回答 7・7  
A・「広報なんこく」が市民の

家庭に毎月とどくのが全体の九五・九％で、市内全戸にもれなくいきとどいているといえるね。  
B・しかも、発行の日（一日と十五日）からみて、五日以内にとどくが全体の半分にあたる四八・五％、十日以内を含めると八一・四％にもなる。  
C・この数字はかなり高いもので注目してよいね。地区別では後免野田が回答のあった三十六件の

**A**・手数料の取り扱いについては、それぞれの地区で話し合われた方法でやっているようだね。そのお金を部落公民館の活動費にあたり、婦人部の費用にするなど輪番でやっているところは多いようだね。

**B**・月番や部落、婦人部のいろいろな用事を連絡員が兼務する仕組みになっているところもあって「連絡員は忙しい」と、よくいわれるね。

**D**・市長への手紙でも「非常勤特別職として条例で地区長の設置」の「手当の増額」を望む声が二件あった。

**E**・これに対して市は「地区連絡員は地区(部落単位)で推せんしてもらった人に市長がお願いし、月一回市からの文書の配付などを頼んでいます。市からの文書も各課バラバラに頼んで、大変ご迷惑をかけてきました。そこで四十八年四月から広報なんこくを月一回発行することによって文書配付の統一に努めています。手数料は条例により非常勤の委員として一世帯につき年間二百円を出しています。この額は四十七年百三十円、四十八年百五十円であつた。

たもの四十九年四月から二百円にしたものです。現状の二百円では安いという声もありますが、財政事情などもあってご無理をお願いしています。区長制はコミュニティの育成や自主的な町内会、部落会の育成ともあわせて市民とともに研究していきたいと思っております。

**C**・いずれにしろ大変苦勞な仕事で、広報にたずさわるとしても頭が下るね。今後ともよろしくお願いしたい。

## 市政や市の行事 80%が広報で

### 人に聞くなど、わずか8%

問3 あなたやあなたのご家族は、市政や市の行事などを何で知りますか。

(1) 広報なんこく	80.5
(2) 回覧板	38.7
(3) 有線放送	4.9
(4) 人から聞く	7.7
(5) 対話集会や説明会	2.6
(6) 直接市役所に行く	0.8
(7) 一般新聞やテレビ・ラジオ	22.6
(8) その他	0.3

問4 「広報なんこく」は市政や市の動きを知る上に――。

(1) 参考になると思う	65.9
(2) 少し参考になると思う	26.4
(3) あまり参考にならない	5.4
(4) 無回答	2.3

問5 あなたやあなたのご家族は「広報なんこく」を――。

(1) すみずみまでくわしく読む	38.2
(2) ざっと読む	55.1
(3) 見出しだけ読む	3.3
(4) ほとんど読まない	1.8
(5) 無回答	1.6

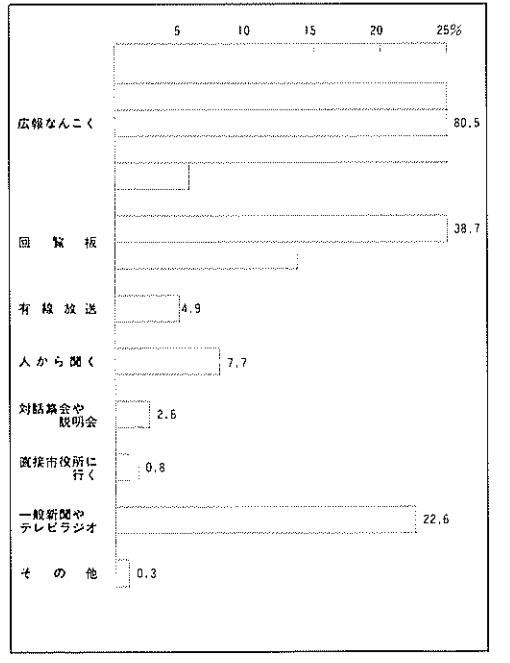
問6 あなたのご家庭で「広報なんこく」をよく読む人は誰ですか。( )の中に順番をつけてください。

二〇歳未満の男女	1.7
二〇歳～三十九歳の男女	2.1
四十歳～五十九歳の男女	1.6
六十歳以上の男女	4.3
一番と答えたもの	9.9
二番と答えたもの	22.5
三番と答えたもの	14.4
四番と答えたもの	24.7

**A**・中央紙は県内記事は少ないけど、地元新聞はかなり市政の報道もしている。乳幼児の検診の日などは地方欄の、町から村からにとりあげてくれているのでね。少し意外な数字だといえるね。

**E**・有線放送で聞くという傾向も少なくなつたし、市もあまり活用していないのではないかな。

**C**・人から聞く・対話集会や説明会



明会・直接市役所に行く――の三つをあわせてもわずか一一・一％から聞くなどの八割。このことはこれからの行政をすすめていくうえで十分考えていかなければならない問題だ。

**B**・地区別・職業別でもほとんど同じような率になっている。

**D**・八〇割までが広報なんこくで市政や市の行事を知っています。参考になると答えたのは六五割。少し参考になるを合わせると九二割といったところだ。

が多い。職業別では件数は少ないが率としては商業八七割、製造業八三割が多い。

その反面、あまり参考にならないは大塚一丁目、前浜一〇丁目、商業二丁目、勤労者七丁目。

**E**・すみずみまでくわしく読むは長岡五三割、上倉五〇割が多く岩村二七割、隔田二〇割が少ない。岩村はほとんど読まないが八割もあり注目される。見出しだけ見るでは十市一五割、上倉八割も目立

つて多い。

職業別では、勤労者がくわしく読む四一割で平均三八割より高いが、その反面、見出しだけ・ほとんど読まないが五割、農業でも六割ある。

「家庭の主婦にとって広報は唯一の市政や市内のできごとを知る手段だ。紙質をおとしても良いのもつと頁数を増して、くわしく広く記事のせてほしい。(39歳・主婦)」

「広報のこのころになると早くこないかと待ちかねている。市民カレンダーも大変役立つ。今後ともはりきって頑張してほしい。(44歳・主婦)」という意見も多かった。

## 多い女性の読者

### いま一步、身近かに感じられないのはなぜ

**B**・このことは、すみずみまでくわしく読む三八割。ざっと読むを合わせて九三割という数字になつて表われているね。

**C**・地区別では参考になると答えた園府八三割、後免野田八〇割

**C**・件数で見れば、あまり参考にならない二十一件と見出しだけ見る十三件、ほとんど読まない七件をあわせた数字が一致している。

**B**・「(行政格差があり) 広報

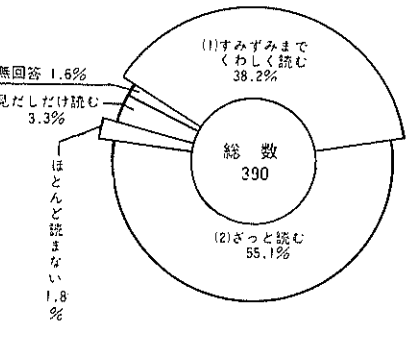
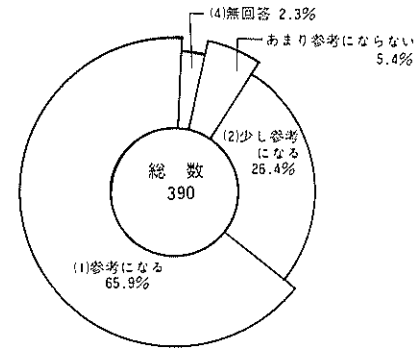
なんこくも腹立しいことばかり、行政とは太陽のごとく隔なく市全般を把握し、始めて愛着をもてる。(46歳・運転手)」「税金のムダ使いなのでやめてほしい。(40歳

の農業)」「毎月二回も発行する必要はない。特別参考になる記事ものっていないし、他に読むものはいろいろある。(45歳・会社員)」という意見があった。

**E**・税金のムダ使いとはきびしい指摘だね。

**B**・その反面、「広報は必ず読んでい。取材や編集の方たちありがとう。(39歳・主婦)」

「毎月二回の広報を楽しみにしている。これからも続けてほしい。市内のいろいろなことも知りたいので、枚数を多くするが、月三回ぐらいにしてほしい。(37歳・主婦)」



### 広報紙に待ちかねる

**B**・その反面、「広報は必ず読んでい。取材や編集の方たちありがとう。(39歳・主婦)」

「毎月二回の広報を楽しみにしている。これからも続けてほしい。市内のいろいろなことも知りたいので、枚数を多くするが、月三回ぐらいにしてほしい。(37歳・主婦)」

「家庭の主婦にとって広報は唯一の市政や市内のできごとを知る手段だ。紙質をおとしても良いのもつと頁数を増して、くわしく広く記事のせてほしい。(39歳・主婦)」

「広報のこのころになると早くこないかと待ちかねている。市民カレンダーも大変役立つ。今後ともはりきって頑張してほしい。(44歳・主婦)」という意見も多かった。

私はこう考える



市民対話のテキスト

広報……それは空のように広く、深く、底知れない無気味なものであるといえます。空の青さの根源を求め、ただよい、まさぐってきたよき時代のこともなつかしいものの一つであります。

市民の声なき声を求め、それを行政に生かすせんだちとして、日々に進みゆく行政の姿を住民とともに見つめ、市民対話のテキストとして活用され、問題提起の場となり、市民の心の糧として市民一人ひとりの身近にあって、再び市民の声となって市政へ反応してゆく、そのような広報であり、広聴の場であってほしいものです。

明るい話題、それは小さなことであっても、人の心をなごませるそのような善意や、心づかいのある記事は、世知辛いといわれる世情に一滴の清涼剤として、さくばくとした人の心へほのぼのとしたあたたかい心をよみがえらしてくれるものです。

埋れてゆくであろう小さな美しい善意の花を市民とともに見出し出してほしいものです。

空の青さの根源を求め、大きく飛躍してゆく広報 市民と市政を結ぶ対話の広報作りに、限りなき愛情をそそぐ広報マンに心から万歳を送り、その労苦に感謝いたします。

東村達夫  
(立田)

がないのかな。

C・このアンケートの対象が小学六年生の父兄なので、三十五歳〜四十五歳の父兄が中心になって回答したのではないかな。小学六年生の兄弟・姉妹ではヤングといっても小中学生だと思っね。

A・まず見られる広報づくりが大切だね。見る「読む」納得する「行動する」。読んでもらっても納得し、理解して行動に表わしてもらわなければ何んにもならない。

B・「毎月読んでいてあきのこない、広報の来るのが待ちかねるような広報にしてほしい。(34歳、農業)」

C・「毎号決ったレバートリーなので、もう少し広い感じで記事のせてほしい。町で村で拾った声とか。広報がもう一歩というところで身近かに感じられない。な

ぜでしようか。(伊達野)」とい  
うのが、胸にズシンときますね。

れない、なぜでしようか。問13・14ともあわせて考えなければなら  
ん言葉だね。

取材や参加希望22%

上倉地区は41%

問7 「広報なんこく」にあな  
たやあなたの家族の写真や記事  
名前などがのつたことがあります  
か。

- (1) ある 13・3
- (2) ない 84・1
- (3) わからない 0・5
- (4) 無回答 2・1

問8 「広報なんこく」に掲載  
された写真を希望者にさしあげて  
いることを知っていますか。

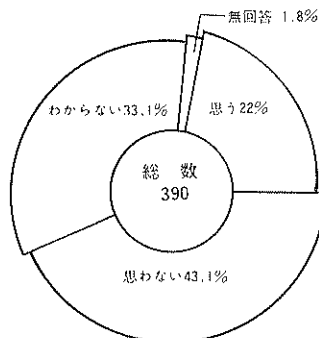
- (1) ある 13・3
- (2) ない 84・1
- (3) わからない 0・5
- (4) 無回答 2・1

問9 あなたは機会があったら  
「広報なんこく」の取材や編集に  
参加したいと思いませんか。

- (1) 知っている 34・4
- (2) 知らない 65・1
- (3) 無回答 0・5

問10 あなたの「ご家庭では「広  
報なんこく」を」

- (1) 毎号として保存している 12・8
- (2) 必要なものだけ保存している 48・0
- (3) 読むとすてる 35・1
- (4) 無回答 4・1



ある人が一三・三割五十二人の人  
たちで八六・七割がのつたことが  
ない、またはわからない、無回答  
だ。

B・広報の編集方針は、できる  
だけ多くの人の写真、名前、そし  
て意見をのせようと取り組んでい  
るけど、まだまだといったところ  
だね。

E・四方三千人の顔……という  
ことで、「お知らせ版」の表紙に

二・〇割というの、それなりに  
評価できるのではないかな。

A・そうだね。思わない四三割  
に比べて、わからない・無回答が  
三四・九割あるんだから、決めか  
ねている面がうかがえるね。

D・参画したいと思うを地区別  
にみると上倉が高く四一・七割、  
低いのは大塚で二三・三割。職業  
別では農林水産業が一六・一割と  
参画を希望する人が少ないね。

男女別では男性二五・四割、女  
性二一・三割が参画を希望してい  
る。参画したい八十六人の内訳は  
男性三十人(三四・九割)、女性五  
十二人(六〇・五割)不明四人だ。

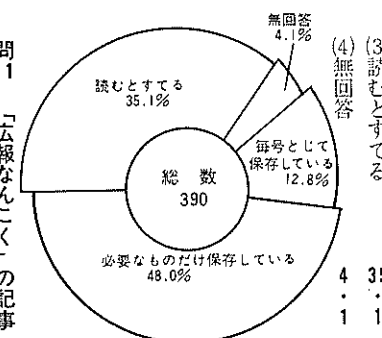
B・広報委員会には市民の中か  
ら学識経験者として五人入ってい  
るけど、一般市民にお願いして直  
接取材してもらったりすると、ち

がった角度で取材・編集ができて  
紙面のなかに「うるおい」がでて  
くるのではないかな。

てくれたり、写真や記事を送って  
くれる市民もほつぽつありだした  
し、いい傾向だと思っよ。

100戸のうち60戸が保存

うち、毎号保存は12戸



問11 「広報なんこく」の記事  
の内容は

- (1) むずかしい 1・0
- (2) 普通 84・4
- (3) やさしい 12・6
- (4) 無回答 2・0

問12 「広報なんこく」の文章  
は

- (1) 読みやすい 30・2
- (2) 普通 66・4

市民とともに  
おめでとう

8月1日生れの人たち

市民とともに、おめでとう——  
八月一日で二百号になる記念と  
して同日生れの人たちを募集して  
いたところ三十四人(明治六人、  
大正七人、昭和二十一人)の市民  
の方たちが申し出てくれた。  
市民とともに歩む広報の決意も  
新たに八月一日生れの人たちを紹  
介します。

- 【明治生れ】  
岩原芳治(白木谷) 吉井透(立  
田) 吉川忠子(大塚) 岩原正巳(西  
山) 東松寿子(浜改田) 岡崎素輪  
(八倉)
- 【大正生れ】  
浜田覚(前浜) 石田政子(大塚)
- 【昭和生れ】  
箭野寛顕(立田) 橋田明(篠原)  
楠瀬萬栄(里改田) 浜田美智(物  
部) 沼康平(稲生) 葛目義人(岡  
豊) 川端駿根(東崎) 戸梶暉(稲  
生) 安井美智恵(廿枝) 池田和雄  
(下野田) 井上久子(東崎) 山中  
涼子(東崎) 中野喜美(大塚) 蒲  
原美代子(大塚) 八松千香(浜改  
田) 岡田真由美(里改田) 窪田洋  
子(後免) 末政麻子(田村) 和田  
隆二(堀の内) 小松宏展(比江)  
浜田しのぶ(園分)

読みやすい30%

読みにくい0.8%

D・文章は読みやすい三〇％。しかし、記事の内容についてやさしいと答えたのは二二％。

B・中学校卒業程度で理解できるように心がけているけど、文章はやさしくしても内容についてはなかなか頭のいたいところだ。

A・とくに行政広報ということ、週刊誌のようにかけないところもあってね。内容にしても制度

の解説、予算や財政など、なかなかやさしくかきにくいものが多いね。「官庁用語」といわれるものがある、やさしく言い換えしようとしてもできない……。C・文章が読みにくい〇・八割記事内容がむずかしい一割ということ、この点ではホッと胸をなでおろしたというのが実感だね。

D・「ゴマすり」かもしれないよ。(笑い)

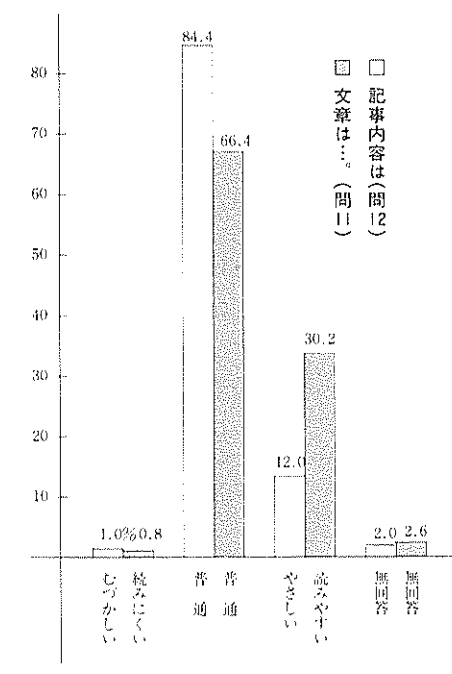
B・「誰が読んで意味がすぐわかるように書いてほしい」。そして子供の意見として「むづかしい

漢字が多いので読みにくい」という意見もあるよ。

A・「広報編集者は辞書はいらない。辞書をひかなければわからない漢字はつかわないことだ」(笑い)ヤングのページで低学年が対象のものは漢字をつかわないとかなをふるなどが必要だね。

B・それもあるけど、「ことも版」というか、小中学生を対象にした広報紙をつくりたいな。

C・写真・イラストなども入れて読みやすくしたいけど、頁数が多くなり予算にもひびいてくる。



## よく読まれるベスト・ワン 市民の声

### 次は座談会、市議会の状況

C・よく読まれるベストテンがでたね。市長の声、市民の声座談会が一位、二位をしめている。そして、これからの希望としても三位に市民参加の記事をふやしてほしいと望んでいる。

D・「市民の声など市民参加の記事を大切にしてほしい。39歳・教員」そして「市民の市政に對

する要望と回答欄をのせてほしい。(45歳・主婦)」というのがある。

E・そこで「編集者は市政側にかたよらず、市民の側の立場で記事を書くことを望む。上役の顔をみながら書いているような記事がある。(三和)」というように、市民サイドにたって書いてほしい。というのもあるね。

B・市長が編集・発行人になっておれば担当職員としては上役の顔をみて……ということがあるかもしれないけど、一般市民と市職員で構成する広報委員会を編集・発行しているの、ゴマのすりよるうがない。(笑い)

C・市長・助役は広報紙の編集発行にはノータッチだ。しかし、

行政広報としての性格もなおざりにできない面もあって行政くささは残るね。

D・三位は市議会の状況に関心がある。そして、なおくわしく知らしてほしいと希望している。

B・「各議員の日常活動を知りたい。そして、それに対して市長助役はどのような考えをもっているのか。(40歳・十市)」という声もあって、一般質問を含めた議会の公開のことだと思っけどね。

A・「議会の公開の原則」からいったら、一般質問はなんとしてものせたい。しかし、力およばず十分とりあげていないのが残念だ。

B・「市には議会報がない。以前に議会事務局へ要望したが、あ

れ以来議会記事がよく掲載されるようになった。大変いいことだ。(不明)」と、ある程度評価はされているけど、まだまだといった感じだね。

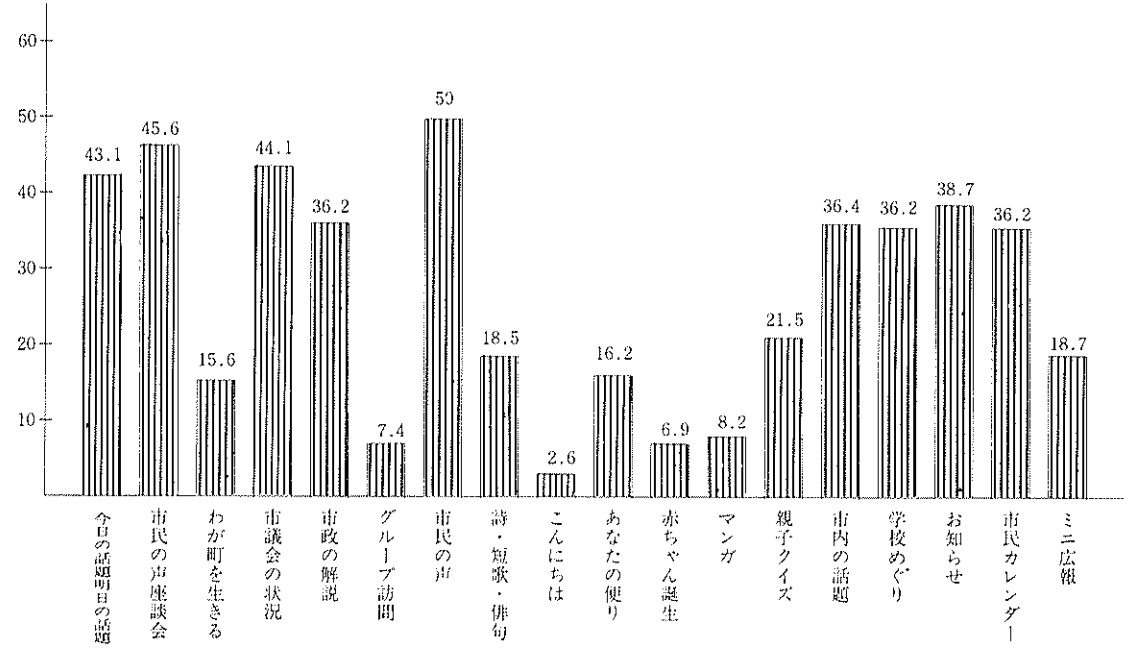
B・県下で議会報を出しているのは高崎市と須崎市のようだね。

B・町村でも広報紙を利用して一般質問をとりあげているところもあるよ。

A・全体的な傾向としては行政広報から独立した議会報を発行するようになってきているね。発行者名、所属政党まで書いて堂々とした紙面のものも多い。マサツとさせて発行者名を省略しているところもあるけど……。

## 議会報発行の展望を 当面は議会の傍聴

問13 あなたの家庭では「広報なんこく」のどの記事をよく読みますか。( )の中に五つ〇印をつけてください。(〇印のついたものをあげてみますと上の表の通りです。パーセントは一〇〇割を越えます)



問14 「広報なんこく」の記事は、これから……。

(1)市内の話題など地域の催しや行事などをのせてほしい 36・1

(2)市議会の記事をくわしくしてほしい 26・9

(3)市民の声など市民参加の記事をふやしてほしい 22・6

(4)市の施設や制度の紹介記事をふやしてほしい 22・3

(5)市の施策を解説した記事をふやしてほしい 21・5

(6)その他 1・3

(7)無回答 12・3

B・市広報広聴企画委員会が昨年答申したところによると「議会広報は政策形成過程、審議過程を広報、行政広報は政策実施過程を広報するものだ。市民の知る権利に應えるためには市民に知らす義務があるのは当然。議員、職員、市民で市議会広報編集委員会をつくり、議会広報を発行する展望をもつべきだ」としているね。

B・議会報のするまでは、広報なんこくでも積極的にとりあげていきたいし、市民の方も本会議や委員会の傍聴にきてほしいね。

A・本会議の傍聴は誰でも簡単にできる。委員会は一応委員長の許可ということになっているけど、許可されないということはないと思うので気軽に傍聴されることをすすめたね。

D・これからとりあげてほしい記事の第一位は市内の話題など地域の催しや行事。

E・「足でかく広報」を方針にかかげながら、発行日におわれて「机でかく広報」になってしまっね。(笑い)

A・毎回反省していることで、気持は十分ある。(笑い)

E・毎月二、三日は自転車にのってフラッと市内をまわってみては……。面白い場面や意見に接することができると思うよ。

C・「赤ちゃん誕生」の取材なんかは面白いね。泣かれてなかなか写真がとれなかったり、スヤスヤ寝ているのを起して取ったり……。この間は「遠方からわざわざきてくれるのも大変だから」と、寝ているのを起してくれた。

D・赤ちゃんにとっては大きな迷惑だよ。でも、そんな取材のなかで市民と肌になれる会話ができていくのは大切なことだね。

## 市民との ふれあいを大切に

A・インタビューにしても、文章の一つ一つにしても、ちよつとした心使いというか、市民とのふれあいを大切にしていきたいね。やっぱり、小さいことでも紙面にあらわれてくるんじゃないかな。

C・話はちよつとちがうけど、「ミニ広報」これが意外と見られているんだね。紙面の余白だからといって「手抜き」できない。(笑い)

D・そのほかの意見では……。▽文芸欄などが少ないときがあるの、作品の募集に工夫を。(48歳・農業)

▽各地区に伝わる「昔話し」が、民話」をのせてほしい。(41歳・公務員/39歳・主婦)

▽スポーツの試合の予定と結果(39歳・会社員) スポーツ関係の記事をふやしてほしい。(45歳・会社員/36歳・会社員)

E・文芸欄については「マンガクイズ、特に俳句、短歌など必要なし。(36歳・商業)」というのがある。

D・お年寄りから子供までという、広範囲の市民に関心をもって見てもらおうという広報の宿命みたいなものがある。ヤングのべ

ーは二十歳未満のページ、特に小中学生を中心に編集をしている

## 九月から内容改善

### 市民の協力に感謝

D・続けて意見をみると……  
▽経費のこともあるが、広報の表紙をカラーにすれば特に目にとまり読む人たちも多くなるのではないかと。(43歳・商業)

▽特定の地区や特定の内容の記事が多い。広く公平に記事にのせてください。(44歳・公務員)

▽毎週遊び場をわけてくれる場所を知らしてほしい。(37歳・会社員)

C・広報に対する市民の意識調査をしたいと思っていたのが、二百号でやっと実現したわけで、この数字や意見を一つひとつ大切にしていきたいね。

E・なお、細かい分析などをし、できれば九月ごろから内容の改善にとりかかりたいね。



## 広報の広報

日本広報協会主催の全国広報コンクールは、このほど行われ、広報なんこく、四十九年十二月一日号が都市部で入選しました。

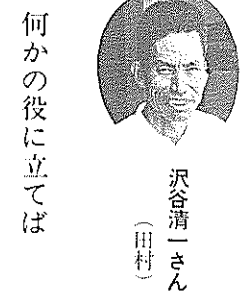
## 全国広報コンクール 2度目の全国入賞

広報なんこくは県のコンクールで特選になり、全国審査に出品されてきたもので、全国入賞は一年に続いて二回目になります。入賞は市民のみなさんの指導、協力があつたればこそで、今回のアンケート調査をもとに、より親しまれる広報紙へ脱皮する決意です。すのでよろしくお願ひします。

見出しを含め、そしてレイアウトの確かさ、美しさの三点がみごとに結実していた例は都市部では広報なんこくであった。(三樹精吉)

「家庭」欄は「あなたがつくるページ」で、詩あり俳句あり、広報紙には珍しいクイズまでがついている。一家団らんへの配慮がうかがわれようというものである。ともかく、かゆいところに手の届くような心がけが感じられる紙面である。

こうした点が、市民に親しまれる大きな要素となっていると思われ。評価されたのも、その点であろう。



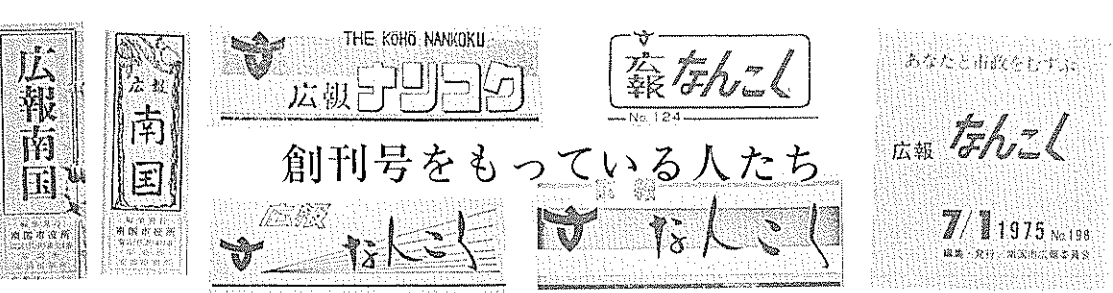
「以前から、新聞の切り抜きをするのが好きでして、若い頃はよく集めておいて、でも、年をとるとメカネがいろいろになり、近頃はようやくやってみせよ」と、沢谷さんは、親しみを覚える独特の笑顔で話してくれる。もともと取集を始めたのは、新聞配達という職業から来たもので、広報なんこくも、「何かの役に立つかも知れない」と、保存していたものだそうである。



包末のお宅を尋ねて、まず通された部屋には、岩村村議会議長、助役、村長を歴任……という表彰状がかけられている。どんな人だろうか？と、少し緊張して待っていると、卓の下に足をたくわえた老人が笑顔で現われる。なかなか威風凛々なおじいさんである。七十八才にしては実に若い。

### 歴史をふりかえる

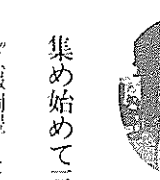
議員生活当時から、「職業がら広報紙を見る機会があり」集めたのがきっかけで、「昔の出来事を見るのが楽しみです。南国市の歴史をふり返ることは自分自身の教訓になる」と、自分に言い聞かせているようだった。



## 創刊号をもっている人たち



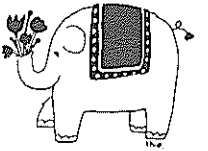
「広報によって、市内のできごとや行ったことのない所を知ることができると、沢本さんは広報なんこくを語ってくれた。集めだしたきっかけは、「これといってない」そうだが、これまでに集めた広報は数多い。なかでも、一番古いのが、昭和二十八年九月二十日発行の「三和」二十四号。



「岡豊村時代に、近所の人が載ったことがあり、今の南国市よりは岡豊村の頃のほうが地域が狭かったせいか、記事も知っていることが多く、今ではなつかしく思い出される」と、そう話す。

「広報は仕事も忙しく、広報を読むことも少なかつたが、タバコの取り入れも終り、やっと一息ついたところ。また、これからは楽しく読ませてくれますよ」と、カメラに向って話した。

「私たちが若い者から見ても、このおばあさんに広報の年輪を感じると言っては、大き過ぎませんか。」



原稿募集

広報なんごくでは、あなたの投稿をお待ちしています。「市民の声」など、市政に対する建設的な意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」欄などへ、あなたの参加をお待ちしています。
中学、高校生のみなさんの詩や作文などもどうぞ。
また、地域の話題や楽しい行事などありましたら手紙や葉書でご報告ください。
楽しい行事などあるときには、電話ください。
は、電話くだされば、広報から取材にまいります。
あて先・南国市大塚甲二二〇
一 番 地 南 国 市 役 所 内 広 報 委 員 会 電 話 三 一 二 一 一 内 線 四 三 三

あなただけの南国歌壇

南国歌壇

Table with columns for author name (e.g., 中司愛子, 植野, 立田 清岡照子), poem title (e.g., 吾子の笑顔を思い出しおり, 老の身にむち打たるや九十祖父), and publisher/venue (e.g., 岩村句会, 国分梵鐘会, 高橋 蛙).

詩

青空

まっさおに暗れあがった空
背のびして、
思いきり両手をのびした。
もう少し、もう少し。
青空がつかめるような気がした。
からだじゅうに
青空がしみこんでくる。
小倉久(比江)

人間

人間とは、われわれ
人間とは、欲望感が強い
そして、いざとなれば
我れ先である
われわれ人間は
たがいに助け合い
はげましあって
生きていかなければならない
愛、平和、そして、そして……

人間よ人間

人間よ人間 戦うな
一人一人
手をつなごうではないか
たがいに手を取りあつて……
人間よ人間
人間とは、われわれたちだ！
浜田みほ(下島里)



広報委員の目

杞憂

瀬戸内海を渡れば誰でもわかるが、海の色はうす黒く死につく海である。川には洗剤その他の化学薬品が流れこみ魚が住めぬ。大都市の人は川の水を飲んで生きていくが、これらいつまでもつこつとやら。現に建設省では、このままゆくと昭和六十年には二十八億もの水不足が生じると発表された。これは、量の不足であるから質の良否を考えると、なお不足は多くなるであろう。

世界各國が経済海域二百カイリを強く言い出した。間もなくその通りになるだろう。こうなれば日本の漁船の働ける海は半分となり、今までのように魚は食べられなくなる。現に瀬戸内海や高知には遠洋漁業に出るのをやめて、つな



国際婦人年

地位向上を

めぐらそう



六月二十八日、午後一時から大篠公民館で国際婦人年南国市大会が開催されました。今年「国際婦人年」——ちょうど日本では婦人参政権獲得の三十周年にあたり、南国市では初めての試みで約二百人の婦人が参加しました。この行事は、現在、婦人がおかれている立場を直視し、婦人の地位の向上をめざそうとするもので、ちょうど海外でもメキシコ市で国際婦人会議が開かれており熱気のある行事となりました。まず、高知新聞社の論説副委員長品原淳次郎氏の「国際婦人年にちなんで」の講演のあと、市内の各婦人団体の手による、戦中、戦後の女性の苦難の歩みをふりかえった、寸劇「女の道よなせけわし」があり、和氣あいあいとしたひと時をすごしました。

市政モニター

一斉清掃で思うこと

誠に申し分ないが、毎日高知市まで通勤しているため、ろくに新聞も読めない時があつて六月八日は、県内一斉清掃の日だったのですが、実は聞いてみると一部の人たちも知らなかったようです。ところが七日の夕方、市役所の職員が広報をもってやってきました。翌日は、一斉清掃の日だからよろしく頼む、といきました。私の家も夫婦共働きで、日曜日には家のことを色々やりますが、清掃日ならしかたありません。朝八時から起きて、三十分ぐらいで溝の清掃も終り、やれやれとゆうクが来るからそれに載せてくれといふのです。今までもそんなことは私の記憶ではないと思つていまして、日曜日でもあるので、仕方ないと思ひ、泥まみれでトラックに載せました。ところが、腹が立つてはありませんか。昨夜、広報をもって来た市役所の職員が、車に乗って遊んでいるのかどうか知りませんが、私は近所の人たたちと一緒に泥まみれになっていて、うに、市長これはどういふことですか。前の日に突然もつて来て翌日は車にのつて、のうのうとし

ているといふことは、またあの日は、高知市でも清掃している姿がテレビでも出ていたが、そのわきで、市営プールで水にたわむれている男女、子供が映っていました。一生懸命清掃している者と、娯楽をしているものが同居する清掃日なんてあるのでしょうか。よその市のことはあまり申したくありませんが、まさかその日、南国市でもそんなことをしていた人はいますまい。(Y)

六月八日は南国市一斉清掃の日である。三日位前から、各班の人たちと話し合つてお互いの持場を決めた。前日はたい大きなゴミを一所に集める事にした。私達は、国道沿いに人家が集つているため、早朝五時から掃除する事にした。普さん、早起きしたことがないために、近所の人たちとよく起きるろうかねえ、もしまだ出てなかつたら起きに来てよ。と何度も念押ししながら帰った。当日の朝は、三時頃から一時間おきぐらいに目が覚めて困つた。六月八日、朝五時、心配していたお天気も良く、この分だと作業がはかどるだろうと両手を大きく

広げて朝のすみきった空気を胸一杯吸つた。近所の人々は手に手に鉄や鎌を持って集まつてきた。それぞれ持場で作業は開始された。一戸当り、一人以上参加して下さつたのでふだんはあまり声をかけたことのない人も今日はなんだか何年も前から知人の様に和氣あいあいとして作業もはかどつていた。これはもしかして、私の家のゴミではないかしら。これは上から流れてきたものらしい。部落、部落の境に線をしてみてはどうかしら。などと、日頃はめつたに顔を合せず事のない者同志、色々話ははずむ。

ほぼ全員出て下さつたおかげで一時間余りで作業は終了した。美しくなつた空地や川を眺めて皆、本當に、さらさらと流れる水を見るのは気持ちのいいものだねえ。年に一回といわず、また声をかけてちょうだい。といわれた時は、本當にうれしかった。今日ほど、衛生委員会をしていて充実した満足感を味わつたことはない。私たちの住む街を私たちの手で美しくするのはあたりまえ、といつてしまえばそれまでだが、やはり私は、ご協力くださった皆様にお礼をいいたたい。本當に、ありがとうございました。(H)

(ロケット)





### つゆにちは

香長中3年生の岡林千代さん。「郷土に残り、郷土を興そう」の懸賞標語でNHK高知放送局長賞を受賞。「若者のその手で興そう土佐の土」が入賞作品。

「たくさんの若い人が都会に出ていく現在、できるだけ郷土に残りこの土佐を盛りあげて行こう」と語る岡林さんは読書が大好きで、現在は作文クラブに参加している。

入賞を知った時は——。「まさかと思ってなかなか信じられなかった。表彰の日には朝早くから目がさめて——」と語る顔にはうれしさがいっぱい。

「こんな機会があればまた応募したいと思っています」と意欲満々。これからもがんばってください。

入賞おめでとう。

## バスケットボール

### 市中学校生徒文集「れいなん」74・8号より

昭和四十九年度の県総合体育大会に香長中バスケット部は出場することができた。毎年出ているのであたりまえのように考えているが、これまで先輩の力、努力などによって今年も出場できたと思う。ぼくは、昨年入学当時友だちといっしょに部室へ行った。その時からはいったのだ。

はいる前の甘い考えとはちがいでとても厳しい練習が続く、いくともやめようと思った。

しかしぼくは、バスケットというすばらしいスポーツから離れることができなくなり現在にいたっている。

桜が咲き学生服に着られている



松崎恵子(上末松)十歳

その考えはまちがっていた。昨年の県春季大会の時、附属中とやり、かなりの差で負けてしまった。この時ぼくは、「先輩があんなに負けるなんて。」と強く反省させられた。

ぼくはなるべく練習は、休んではいけないし、休まないことと自分で確認している。けれどなぜかやる気になれず、一学期は何回か休んでしまった。

夏休みにはいったころから三年生は退いて、主に二年、一年でやってくるようになった。しかしチームとしてのまとまりがたたりず、秋季大会も負けてしまった。不思議なことに、このころから少しずつまとまりができて冬の寒い空気のなかで基礎練習を運動場でみっちりやってきた。寒い北風の中で練習をした。手が寒さによってきかな

全員がやって勝利をあげるものだから、そのためにはまず練習を大切にしたい。チームワークを育ててゆきたいと思う。

ぼくは、バスケットを始めて勉強の方も充実してきたように思う。バスケットの試合を見ていると、ぼくもやらなければならぬと、自分の立場について考えることがある。もうこれから二年生中心でやってゆき、まとまってやっていくかなければならない。そしてバスケットというすばらしいスポーツを思いっきりやってゆきたいと思ふ。ぼくは、このスポーツが大好きだ。追力があるかかなりの技術がある。バスケットなくしては、ぼくの生活はあり得ないように思ふ。まだ、へたくそで、どうにもならないけれど、必ず全力を出して試合にぶつかっていききたい。ぼくはバスケットボールに感謝

くなったあの時の練習がはくにとつて良かったと思う。

このような練習を積み重ねてやってくるうち、新人戦の日が近づいてきた。この日のみんなの目はちがっていた。「こんどこそは」目が語っていた。

一回戦、二回戦とみごとに勝ちぬき三回戦へと進んだのである。三回戦は附属中との対戦で前半はリードしていた。しかし後半は逆転せられ六点半で終わった。ぼくは大変残念だった。しかし三回戦へ進んだ努力はすばらしいものがあつたように思ふ。

こうして今年の春季大会、県総合体育大会と良い成績を残すことができた。

ぼくは、今までやってきてくれた先輩に感謝の気持ちでいっぱい。バスケットボールは一人でやるものじゃない。五人いやクラブ員

香長中二年 高島勉

島崎秀典くん(能間)

### あなたの日頃

■今月号の学校のめぐりで久しぶりに母校の発展ぶりを見てうれしく思いました。これからも南園市のいろいろなニュースをのせて下さい。【岡田幸晴 中沢由美子】二十歳 主婦

■毎月の広報、ありがたうございます。中学一年の子ども、主人共ども、たのしく色いろのことを話しながら、市内のできごとなどおしえられ、家内一同うれしく思っています。【前浜 大野富貴子】四十六歳 主婦

### 学校めぐり

#### ★北陵中学校★

ぼくたちの北陵中学校の生徒数は、二百七十三名です。全校生徒は「自主的、積極的な生活態度の育成」という学校の生徒指導方針に基づいて、生徒会活動を活発にしようとして努力しています。

生徒会の中には、六つの専門部を置いています。水泳大会、クラスマッチ、体育祭などの体育的行事の運営には保健部があたり、金生徒も楽しく行事ができるように保健部に協力し努力しています。

校刊誌の「のびゆく友」、学校新聞「北陵タイムス」の発行、読書感想文コンクールなどの文化的行事は、文化部が受け持ちます。その他、美化部、規律部、学習部、生活部と、全員がどれかの部には入り、毎週月曜日には代表委員会、専門部長会、専門部会(二回)を開いて楽しい学校生活ができるよう検討しています。

また、サッカー、バレー、バスケット、ソフト、昨年新設の剣道部、本年新設の卓球部など、九つある部の活動もさかんで、それぞれ、毎日練習にはげんでいます。なかでもサッカー部の活躍はすばらしく、昨年は全国大会に、本年は四国大会に出場しました。

### 島崎秀典くん(能間)

第四十六回の正解者発表

■こたえ

市は四十九年度の一一般会計予算で(億)千万円(決算見込み)の赤字を出した。

■特賞・二千円、藤村久子(下野田) 島崎秀典(能間)

■残念賞・坂野正明(片山) 山岡明子(南小笠) 門田幸俊(横田) 竹村加代子(岡田町)

■笠ノ川) 浜口直美(立田) 浜口英子(浜改田) 野村正明(物部) 佃美智子(藤原) 森田安雄(浜改田) 山本高行(岡田町笠ノ川)

おめでとうございました。これからもしつとご応募ください。



間城綾さん S 49・8・27生

服部佐織さん S 49・7・11生

野村匡くん S 48・9・23生

広沢満希子さん S 49・3・8生

森恵子さん S 48・9・25生

修介・孝子さん長女 前浜2268

良三・洋子さん次女 比江284

進・貴美さん長男 大埔甲1640

裕・さつ子さん長女 稲生1844の2

英郎・真佐子さん長女 片山838の3

修介・孝子さん長女 前浜2268

良三・洋子さん次女 比江284

進・貴美さん長男 大埔甲1640

裕・さつ子さん長女 稲生1844の2

英郎・真佐子さん長女 片山838の3

修介・孝子さん長女 前浜2268

良三・洋子さん次女 比江284

進・貴美さん長男 大埔甲1640

裕・さつ子さん長女 稲生1844の2

英郎・真佐子さん長女 片山838の3

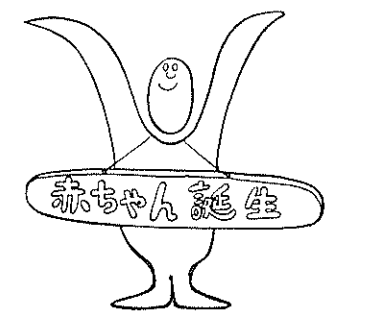
修介・孝子さん長女 前浜2268

良三・洋子さん次女 比江284

進・貴美さん長男 大埔甲1640

裕・さつ子さん長女 稲生1844の2

英郎・真佐子さん長女 片山838の3



昭和中三年度の県総合体育大会に香長中バスケット部は出場することができた。毎年出ているのであたりまえのように考えているが、これまで先輩の力、努力などによって今年も出場できたと思う。ぼくは、昨年入学当時友だちといっしょに部室へ行った。その時からはいったのだ。

はいる前の甘い考えとはちがいでとても厳しい練習が続く、いくともやめようと思った。

しかしぼくは、バスケットというすばらしいスポーツから離れることができなくなり現在にいたっている。

桜が咲き学生服に着られている

松崎恵子(上末松)十歳

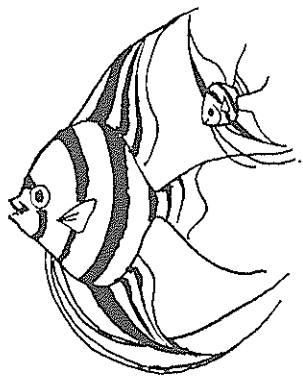
その考えはまちがっていた。昨年の県春季大会の時、附属中とやり、かなりの差で負けてしまった。この時ぼくは、「先輩があんなに負けるなんて。」と強く反省させられた。

ぼくはなるべく練習は、休んではいけないし、休まないことと自分で確認している。けれどなぜかやる気になれず、一学期は何回か休んでしまった。

夏休みにはいったころから三年生は退いて、主に二年、一年でやってくるようになった。しかしチームとしてのまとまりがたたりず、秋季大会も負けてしまった。不思議なことに、このころから少しずつまとまりができて冬の寒い空気のなかで基礎練習を運動場でみっちりやってきた。寒い北風の中で練習をした。手が寒さによってきかな

島崎秀典くん(能間)

学校めぐり



### 市議会議員選挙 候補予定者の説明会

10月に行なわれる南国市議会議員選挙候補予定者に対する説明会を下記のとおりいたしますので、本人、または代理人者は必ず出席してください。

日時・9月2日(火)  
午後2時より  
場所・市役所4階大会議室

## 国保とは、こんな制度

九月から国民健康保険(国保)の保険税を納めなければなりません。国保には会社などの健康保険やその他の医療保険に入っていない人が入らなければなりません。現在、市では人口の約四割にあたる一万六千人が加入していますが、その人たちが(被保険者)が保険税を出し、このうえに国の補助金約五割を得て、みなさんの医療費を負担しています。ひとりでいうなら、大勢の人がお互いに助け合う大切な制度です。たとえば、あなたの医療費が一万円かかったとしますと、そのうちの三割(三千円)は病院の窓口で一部負担として本人が支払って、残りの七割(七千円)を国保でみてくれるわけですが、老人医療など、無料の場合も、かかった医療費の七割を国保がみて、残り三割のうちの手当を国が、市が負担して、市が支払うという仕組みです。そのために老人の方にも国保税を納めていただいています。

また、高額医療制度といって、一カ月間に一病院で自己負担が三万円以上だった場合は、越えた分について、約三カ月後に国保から返還されることになっています。昨年度の医療費は、三九割の大幅なアップで八億六千六百二十三万円、一人当たり五万二千八百四十

円になったことになっていますが、今年もまた、医療費の二〇パーセントが削減されます。このため、国保税についてはやむを得ず七割アップを計画、平均で一人当たり一万四千二百一十円となりました。県下の九市でみてみますと一番目に安い国保税になっています。

なお、課税限度額は十二万円にすえおき、低所得者には均等割額や平等割額で軽減の措置をとるようになっています。

#### 五十年年度保険税率

区別	税率
所得割	課税標準額の1%
資産割	固定資産税額の1%
均等割	被保険者一人につき四千五百円
平等割	一世帯につき六千円

#### 市民課国保係

### 国立広島身体障害者職業訓練校

#### 技能修得で社会復帰を

国立広島身体障害者職業訓練校では、五十年十月入校の訓練生の募集を九月三十日(火)まで行っています。

この学校は、身体障害者のみなさんに、その能力に適應した訓練職種について、専門的知識と技能を体系的、合理的に訓練し、技能を習得し、就職して社会復帰してゆくところです。

募集する訓練職種と人員は次のとおりです。

- 一般事務・十人 洋服・十九人
- 縫製機械整備・四人 義肢装具・九人
- 洋裁・十五人 機械製図・十三人
- 電子機械・十四人 内装表具・十人

応募資格・義務教育を修了した人、またはこれと同等以上の学力のある人で、年齢、性別は問いません。

応募手続・近くの公共職業安定所に申し込んでください。

受付開始・七月十五日(火)

締切日・九月三十日(火) 定員

入校日・十月七日(火) 訓練期間一カ年。

学校のくわしい案内は、公共職業安定所か福祉事務所にあります。

《訓練生の特典》

▼公共職業安定所から「就職促進の措置」などの指示を受けて入校した人は、在学中、国から最高月額約五万六千円の手当が支給される制度があります。

#### 九月四日・南同教研究会

#### 部落解放の理解と実践

南国市同和教育研究協議会(南同教)は、南国市の真の民主化の基礎となる部落解放のための同和教育があらゆる職場でとりくまれるよう、正しい理解と実践について研究協議を深めることを目的としています。

#### ★第二回研究会

九月四日(木) 九時~十七時

大蔵公民館で開催します。

各職場、地域での実践をまとめてほしいと思います。

昭和五十年年度、南同教役員は次のとおりです。

会長・中村勝彦(蔭ヶ池中学校長)

副会長・竹田広美(一般、市議)

堀川和夫(一般)

### 忘物 市役所での忘れもの

今年になって市役所で次のような忘れものがありました。心当りの方は管理課庶務文書係まで連絡ください。

▼一月十四日・茶色の背広(二階会議室で) 中には農協共済手帳(現金) ▼一月二十六日・現金(玄関で) ▼三月十九日・大

丸商品券 ▼五月十五日・プラチナ万年筆 ▼五月・吉岡、川田の印鑑(会計窓口で) ▼五月二十八日・シャープペンシル(庁舎前で) ▼七月・老眼鏡、松岡、刈谷の印鑑 ホンダカブのキー(ナンバーH8097)

### 選挙 障害者は郵便投票で

在宅投票制度があるのを存知ですか。これは、障害者のために設けられたものですが、郵便投票証明書を持っていないと在宅投票はできません。次の障害のある人は今すぐ身体障害者手帳、または戦傷病者手帳を添えて、郵便投票証明書交付の申請をしてください。(申請書は選挙管理委員会にあります)

▼身体障害者手帳に両下肢が不

在の障害が一、二級、心臓、じん臓、呼吸器の障害が一級か三級の記載のある人

▼戦傷病者手帳に両下肢または体幹の障害が特別項病から第二項病まで、心臓、じん臓、呼吸器の障害が特別項病から第三項病の記載のある人

### 試験 小型船舶操縦士の試験

六月一日号の広報でもお知らせしましたように、船舶職員法の一部改正により、昭和五十年十一月二十六日から五、未満の小型船舶に乗りこむ場合にも、免許が必要となります。まだ免許を取得していない人のために次の日程により高知市で試験が行われます。

免許種類・四級小型船舶操縦士  
試験日・九月十六日  
試験申請書提出期間・八月二十八日~九月七日  
試験内容は、学科、実技、身体検査の三つで受験料は一万一千円程度です。また講習を受けたい人は八月二十三日~二十六日の四日間、費用二万六千円程度で受講

することができません。なお、詳しいお問い合わせは渡辺海運観光部(☎三三三四三〇九)か商

工水産課まで。 商工水産課

### 寄贈 パラグアイの移住地に本を

「日本人移住地では青年が日本語の勉強をしたがっています。教材となる本が少なく困ります。古本で結構ですから、ご協力を」と南米パラグアイから高知市に里帰りした女性が呼びかけている。

は祖国日本の教科書によって勉強し、教養をたかめたいという自主的な要望が急速に高まっています。ところが、現地では日本語教科書は手にはいらず、せっかくの要望もかなえられない実状です。

南米パラグアイには、多数の日本人が在任しています。この人たちは移住後、長い間の苦難期をのりこえ、ようやく最近、事業も安定期にはいったとの、明るいニュースが伝えられています。在住の日本人のなかには、日本語による教育を受ける機会に恵まれなかった青年も多数おり、このため、現地青年の間に

南国ライオンズクラブはこの要望にこたえ、現地青年に本を送る運動を進めています。みなさん、ご家庭にある古い教科書、参考書(小学校低学年用) 童話、マンガ、雑誌など、一冊でも多く送ってください。ご協力をお願いします。(連絡と送付先南国市日町、南国中央青果市場内、南国ライオンズクラブ事務局☎四二二五四六

### 募集 少年野球スクールに入ろう

少年たちの胸の中に芽生えている野球に対する興味と夢をひきたし、心の豊かさを育てよう。この会は正しい野球の基礎技術を身につけるとともに、規律のある生活をとらして、少年のすこやかな成長をねがうものです。

▼会費・毎月二百五十円(入会の時は四カ月分千円を前納)  
▼練習・三和小学校  
▼指導・南国市軟式野球連盟  
▼服装・スクール指定のもの。  
▼申し込み・保護者の同意書を書いて三和小学校の棚野先生へ。

8月には県市民税納付月です

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
1(金)	不燃物の収集・(立田) 後免乳児検診・1.30~2.30 後免町公民館	16(土)	不燃物の収集・(宇田、東崎、東部、西部、中部、祈年)
2(土)	不燃物の収集・(田村)	17(日)	休日在宅医・鍋島医院(国分) 2-0030
3(日)	休日在宅医・南国病院(大塚) 4-3137	18(月)	不燃物の収集・(野田)
4(月)	不燃物の収集・(十市)	19(火)	不燃物の収集・後免(東町、横町、中町、中ノ丁)
5(火)	不燃物の収集(里改田・片山)	20(水)	愛の献血・9.30~11.30 南国市役所 不燃物の収集・後免(西明、榮町) 人権・行政相談・10.00~15.00 後免町公民館
6(水)	不燃物の収集・(浜改田) 大獲離乳食講習・1.30集合 大蔵地区公民館(3ヵ月~8ヵ月)	21(木)	不燃物の収集・(阿山、三島、上末松、下末松、西山、上廿枝、西島、吉市)
7(木)	不燃物の収集・前浜(下島里、下島浜、久枝を含む)	22(金)	不燃物の収集・(植野、鎮石)
8(金)	不燃物の収集・(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)	23(土)	不燃物の収集・(瓶岩、上合)
9(土)	不燃物の収集・(篠原・明見)	24(日)	休日在宅医・吉川医院(植田) 2-0100
10(日)	休日在宅医・秦泉寺内科(大塚) 3-3928	25(月)	不燃物の収集・(国府、岩)
11(月)	不用犬の買上げ・9.30~10.00 市水道局前 不燃物の収集・(物部)	26(火)	長岡東部乳児検診・1.30~2.30 東部公民館(2ヵ月~1年) 不燃物の収集・(笠ノ川、八幡、小遊、定林寺、滝本、蒲原)
12(火)	長岡西部乳児検診・1.30~2.30 中央福祉館(2ヵ月~1年) 不燃物の収集・(稲生)	27(水)	不燃物の収集・(中島町、中島沖、三島、吉田、常通寺島江村、小笠)
13(水)	不燃物の収集・(能間、野田口、城陸、朝日町)	28(木)	不燃物の収集・(植田・久礼田)
14(木)	不燃物の収集・(稲吉、西窪、新川、鈴江)	29(金)	日章乳児検診・1.30~2.30 日章保健婦室(2ヵ月~12ヵ月)
15(金)	不燃物の収集・1区~8区、南小笠、北小笠(折年団地を含む)	30(土)	
		31(日)	休日在宅医・北村病院(後免) 4-2101

人口/43,767 [75増] 世帯13,477、出生46、死亡21、転入171、転出121、(50.6.30現在)

夏休み子供教室

教室名	月日	時間	会場	対象学年	教室名	月日	時間	会場	対象学年
水泳教室	8月1日~3日	9.00~12.00	大湊小	小学2年以上、中学生で10mまで泳げないもの。	作文教室	8月5・6日	8.30~11.30	久礼田小 日章小	小・中金学年
			奈路小		理科教室	8月5日	8.30~11.30	白木谷小	小学4・5・6年
			後免野田小		植物教室	8月6日	9.00~12.00	十市小	小・中金学年
水泳教室(泳法)	8月3日	13.30~16.00	長岡小 三和小	小学4・5・6年	毛筆教室	8月8・9日	8.30~11.30	稲生小	小・中金学年
剣道教室	8月3・4日	8.30~11.30	北陵中	小学4・5・6年、中学生	バドミントン教室	8月8・9日	8.30~11.30	三和小 岡豊小	小学4・5・6年、中学生
陸上教室	8月4・5日	9.00~11.30	香長中	4日-小学4・5・6年 5日-中学生	サッカー教室	8月12・13日 8月14・15日	8.30~11.30 8.30~11.30	三和小 久礼田小	小学4・5・6年
硬筆教室	8月4・5日	8.30~11.30	岡豊小 十市小	小・中金学年	映画教室	8月22日	9.30~11.00	体育館	小学全学年
図工美術教室	8月4日	8.30~11.30	黒滝小	小・中金学年	史蹟めぐり	8月7日	9.00~16.30	市役所・北部	小学6年・中学生
	8月4・5日	8.30~11.30	大蔵小 長岡小	小・中金学年	図書館教室	8月18日	8.40~15.20	市役所4階	小学5年・中学生・教員

夏休み子供教室の問い合わせは、市教育研究所 TEL③2111 内線319へ。